

(様式第4号)

上田地域定住自立圏共生ビジョン懇談会 会議概要

1 会議名	上田地域定住自立圏共生ビジョン懇談会
2 日時	令和2年1月15日 午後2時00分から午後3時15分まで
3 会場	市役所本庁舎 6階 大会議室
4 出席者	上田地域定住自立圏共生ビジョン懇談会委員23名 上田地域振興局企画振興課長、上田地域広域連合事務局企画課長（オブザーバー）
5 事務局出席者	上田市政策企画部長、上田市政策企画課、上田市連携事業担当課、 東御市企画振興課、青木村総務企画課、長和町企画財政課、坂城町企画政策課、 立科町企画課、嬭恋村総合政策課
6 公開・非公開	<u>公開</u> ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 3人
8 会議概要作成年月日	令和2年1月16日

協 議 事 項 等

1 開 会（上田市政策企画課長）
2 委嘱状交付
3 あいさつ（上田市長）
4 委員自己紹介
5 会長・副会長選出 ・会長に中村彰委員、副会長に小林保委員を選出
6 議 事
(1) 第2次上田地域定住自立圏共生ビジョンの変更（案）について ・資料に沿い、事務局から概要を説明 ・質疑等なし
(2) 第2次上田地域定住自立圏共生ビジョンの進捗状況について ・資料に沿い、事務局から概要を説明 ・以降、協議
(委 員) 機械及び住宅の補助など、新規就農者支援の取組は大変ありがたい。ワイン用ぶどうの新規就農者が増えており、農地が不足している。ワイン用ぶどうは製造業であり、いかに安く大量に作れるかが肝心で、食用ぶどうに比べ広大な農地を必要とするが、個人の農地をかき集めても足りず、既存の耕作放棄地では機械化や自動化による大量生産はやりにくい。東御市においてワイン用ぶどう団地の造成工事をしていただいていることはありがたいが、なだらかな地形を大規模造成により段々畑にすると土地や自然に対するダメージが大きいので、考え方としては造成ではなく「開墾」でいい。国の補助金をいただいて造成する場合、制約があると思うが、今後特区内で新たなぶどう団地を造る予定があるなら、コストも抑えられ、景観も良いと思われるので、段々畑でない形で工事のやり方を検討してもらいたい。
(会 長) 出された意見については、今後の取組や検討に活かしてもらおうことをお願いし、議事を閉じさせていただく。
7 その他
(事務局) 本日は御審議及び貴重な御意見をいただき、感謝。数値等の変更は事務的に調整の上、変更手続きを進めさせていただくので、よろしくお願ひしたい。いただいた御意見等は事務局で整理し、今後の取組に活かせるものは取り入れていきたい。 共生ビジョンは毎年度変更が必要であり、来年度以降も共生ビジョン懇談会を開催させていただく予定。委員の皆様の任期については、設置要綱に委嘱の日から、その日の属す

る年度の末日までと規定しているところであるが、来年度以降も就任をお願いすることもあるかと思うので、よろしく願いしたい。

8 閉 会（中村会長）